

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	238	課コード	0401	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	手賀沼及び主要排水路の水質と水質監視		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・手賀沼課						
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市									
	⑤事業期間	昭和58年度 ~			⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.05人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	5,773千円		当該(開始)年度	(当初)	2,909千円 (うち人件費 445千円)								
					(変更後)	2,007千円 (うち人件費 445千円)									
(2) 目的	施策目的・展開方向	手賀沼の水質を改善するため、下水道の整備や早期接続の促進、高度処理型合併処理浄化槽の設置補助など、生活排水に対して適正な処理を行うための取り組みを推進します。また、降雨に伴い道路や市街地から流入する汚濁負荷の削減を図るため、国に対し負荷対策に関する調査研究の推進と効果的な対策の促進を働きかけ、手賀沼(2箇所)年1回、主要排水路(8箇所)年6回の水質調査を実施する。 ・生活排水対策推進計画に基づき、水環境の状況を踏まえた施策を総合的、計画的に展開し、生活排水対策を推進していく。			事業目的	手賀沼に直接流入する汚濁物質を防止するため、手賀沼に直接流入する排水路を含む市内主要排水路の水質及び底質を監視する。									
(3) 事業内容	内容	施策コード	11102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点1	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値 (6) 目標値						
当該年度	手賀沼の水質・底質調査(年1回)、主要排水路の水質調査(年6回)を実施し、水質汚濁を防止する。				間接	異常水質(底質)を監視する回数		回	7 7						
令和4年度	手賀沼の水質・底質調査(年1回)、主要排水路の水質調査(年6回)を実施し、水質汚濁を防止する。				間接	異常水質(底質)を監視する回数		回	7 7						
令和5年度	手賀沼の水質・底質調査(年1回)、主要排水路の水質調査(年6回)を実施し、水質汚濁を防止する。				間接	異常水質(底質)を監視する回数		回	7 7						
(7) 事業実施上の課題と対応	市内主要排水路の異常水質を監視することは、手賀沼の浄化・再生を図るために必要な事業であることから、今後も継続して実施する必要があります				代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			手賀沼及び主要排水路水質底質調査業務 9月補正予算	2,434 △674		手賀沼及び主要排水路水質底質調査業務 9月補正予算	2,464 △902	1,562		手賀沼及び主要排水路水質底質調査業務	2,464		手賀沼及び主要排水路水質底質調査業務	2,464	
		予算(決算)額	合計		1,760	合計		1,562	1,562	合計		2,464	合計		2,464
		(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0			
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0			
	一般財源		1,760		1,562	1,562	1,562		2,464		2,464	2,464			
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.05		0.05		0.05		0.05							
	正職員人件費	435		445		445		445							
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0							
	臨時職員賃金額	0		0		0		0							
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,195		2,007		2,007		2,909							
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	313.57千円/回		286.71千円/回		286.71									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
必要性	評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)	市は、水質汚濁防止法上、生活排水対策重点地域に指定されているため、浄化対策の基本的かつ重要な事業として手賀沼及び主要排水路の水質・底質の定期的かつ継続的な監視を行うことが不可欠である。同法の規定に基づき、生活排水対策推進計画により、浄化対策を推進していく必要がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 市内の主要排水路の異常水質を監視し、生活排水等による手賀沼の水質汚濁を防止するため、定期的な水質調査を実施した。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 公共用水域の水質汚濁防止の観点から、市が水質の状況を把握する必要があるため。		○要 ●不要
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか?	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		手賀沼及び主要排水路の水質・底質を監視する。		手賀沼の浄化・再生を図るため、定期的に主要排水路、手賀沼の水質・底質を調査した。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
効率性	(1) 目標設定は適切か?	現況値(a)(回)	目標値(b)(回)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	●①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 事業実施計画のとおり、今年度の事業を完了した。		○要 ●不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか?	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実績値(g)(千円)	対事業費(%)	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要
	(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か? (目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ●不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
						令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (239), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation table with sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future actions and comments.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (240), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (242), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including name, objectives, budget, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and environment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (243), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for 2022-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes a summary of the project's progress and future plans.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	244	課コード	0401	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	エンジョイ手賀沼	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・手賀沼課					
	③事業主体	○市 ●その他（エンジョイ手賀沼実行委員会）		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	平成11年度～		⑥担当職員数	6人（換算人数）		0.19人						
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	1,010千円	当該（開始）年度	（当初）	1,941千円（うち人件費 1,691千円）							
	⑧施策の位置づけ	施策コード	11203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無					
(2) 目的	施策目的・展開方向	多くの人が手賀沼の魅力に気づき、その価値を認識してもらえるように、ジャパンバードフェスティバルやEnjoy手賀沼！、手賀沼花火大会などの手賀沼にかかわるイベントや手賀沼周辺の自然観察会、農業体験などを引き続き実施します。また、広報やウェブサイト、SNS、パンフレットなどの活用やパブリック市民団体、事業者及び行政で実行委員会を組織し、手賀沼の浄化・再生を広く市民に呼びかけるイベントである。毎年5月の第2日曜日に開催し、パネル展示、バードウォッチングや手賀沼船上見学会をはじめ、音楽演奏などを通して、訪れた人々が手賀沼とのかかわりや水質浄化を考える機会を提供するものである。			事業目的	市民団体と市が実行委員会を組織してエンジョイ手賀沼を開催することで、手賀沼の浄化・再生活動への誘引や手賀沼を大切にすることを育む。							
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会（6回）7月～5月 ・広報掲載（5月） ・イベント開催（5月） 							
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）			指標種類	指標		単位	回	想定値	6			
当該年度	エンジョイ手賀沼実行委員会の委員として多くの市民や団体に参加を呼びかけ、手賀沼の水環境保全啓発や魅力の発信を図る。			間接	エンジョイ手賀沼への参加者数		人		実績値	6			
令和4年度	エンジョイ手賀沼実行委員会の委員として多くの市民や団体に参加を呼びかけ、手賀沼の水環境保全啓発や魅力の発信を図る。			間接	エンジョイ手賀沼への参加者数		人		(5) 現況値	0			
令和5年度	エンジョイ手賀沼実行委員会の委員として多くの市民や団体に参加を呼びかけ、手賀沼の水環境保全啓発や魅力の発信を図る。			間接	エンジョイ手賀沼への参加者数		人		(6) 目標値	15,000			
(7) 事業実施上の課題と対応	手賀沼の水質が横ばいの状況が続いていることから、沼の浄化・再生に向けて、一人でも多くの市民に手賀沼に関心を持ち、浄化啓発に取り組むきっかけとしていただくため、今後も継続して実施していく必要があります。			代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策			
		エンジョイ手賀沼負担金 9月補正予算	250 △250		エンジョイ手賀沼負担金 9月補正予算	250 △200		エンジョイ手賀沼負担金	250		エンジョイ手賀沼負担金	250	
	予算(決算)額	合計		0	合計		50	合計		250	合計		250
	(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
(10) 人件費等	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
	一般財源		0		50		50		250		250		
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
	換算人数(人)		0.19		0.19		0.19		0.2		0.2		
正職員人件費		1,653		1,691		1,780		1,780		1,780			
嘱託職員報酬額		0		0		0		0		0			
臨時職員賃金額		0		0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		1,653		1,741		1,741		2,030		2,030			
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）	275.5千円/回		290.17千円/回		290.17								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	これまでの様々な取り組みによって、手賀沼の水質は改善されてはいるものの依然として環境基準に達成していないため、引き続き、市と市民と市民団体がイベント活動を通して連携し、流域住民の環境意識を高めていく必要がある。				<ul style="list-style-type: none"> ●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった 				○要 ●不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	<ul style="list-style-type: none"> ○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである（理由） □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 		<その他の内容>		<ul style="list-style-type: none"> □①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ■④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 		<ul style="list-style-type: none"> <市実施の具体的な内容・必要性の理由> 市が支援することによりイベントが充実し、手賀沼の浄化啓発活動を推進することができる。 		○要 ●不要
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要	
	<ul style="list-style-type: none"> ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 		市民団体が構成している実行委員会が、企画・運営を実施しているイベントである。実行委員会に加わり、イベントを実施している。		市民、市民団体が実行委員会形式で運営している。		<ul style="list-style-type: none"> ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 		<期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要	
	<ul style="list-style-type: none"> □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 		手賀沼にふれあい、楽しめるイベントであり、手賀沼の浄化啓発を目的としている。		手賀沼の自然環境、魅力を感じていただき、手賀沼に愛着を持ってもらうことをテーマとしている。		<ul style="list-style-type: none"> ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった 		<想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	<ul style="list-style-type: none"> ○①目標値達成 ●②目標値未達成 		○要 ●不要	
	0	15,000	<ul style="list-style-type: none"> □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である 		実績値(f) (人)	0	<ul style="list-style-type: none"> <目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、オンライン及び展示での開催としたため。 		○要 ●不要	
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ●不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	<ul style="list-style-type: none"> □①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 		実績値(g) (千円)	1,741	対事業費(%)	100	<ul style="list-style-type: none"> ○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 	<ul style="list-style-type: none"> ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>		<想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<ul style="list-style-type: none"> ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下 		○要 ●不要	
	861.57	単位 費用単位	<ul style="list-style-type: none"> ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費 		実績値(h)	0	対目標値(%)	0	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、オンライン及び展示での開催としたため。	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
	令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (245), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	246	課コード	0401	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 手賀沼浄化の啓発 個別事業 手賀沼ふれあい清掃	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	環境経済部・手賀沼課							
	③事業主体	○市 ●その他（ふれあい清掃実行委員会）		④対象地区	■我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市										
	⑤事業期間	平成3年度～		⑥担当職員数	6人（換算人数）		0.22人								
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	1,549千円		当該（開始）年度	（当初）	2,013千円（うち人件費 1,958千円）		（変更後）	1,998千円（うち人件費 1,958千円）					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	11101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	（計画名）	環境基本計画			
(2) 目的	施策目的・展開方向	手賀沼の浄化・再生を図り、かつての豊かな生態系の復活につなげるため、国や県が行う北千葉導水事業、植生帯整備などの浄化事業を促進するとともに、水質汚濁メカニズムの解明などのさらなる浄化対策の取り組みや、植生分布の変化が懸念されるハス群落の拡大防止と適正な管理を県に働きかけます。また、市民に市及び市民団体（我孫子野鳥を守る会、我孫子青年会議所、美手連、ボーイスカウト等）で構成される実行委員会により実施方法を検討し、清掃場所等の事前協議を行う。手賀沼浄化啓発推進のため、市広報紙により多くの一般参加者を募集し、毎年12月1日曜日に清掃作業を実施する。				事業目的	手賀沼の水質浄化を進める一方、周辺の清掃を通して手賀沼に親しみ、手賀沼を大切にすることを育むことにより、水環境保全啓発を推進する。								
(3) 事業内容	内容					当該年度執行計画	実行委員会の開催（1回程度） チラシ作成及び広報掲載（11月） ふれあい清掃実施（12月1日曜日、雨天の場合は第2日曜日）								
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	手賀沼清掃の参加人数を増やし、手賀沼浄化に対する市民の意識向上を図る。				直接	参加団体数		団体	19	19					
令和4年度	手賀沼清掃の参加人数を増やし、手賀沼浄化に対する市民の意識向上を図る。				直接	参加団体数		団体		19					
令和5年度	手賀沼清掃の参加人数を増やし、手賀沼浄化に対する市民の意識向上を図る。				直接	参加者団体数		団体		19					
(7) 事業実施上の課題と対応	本事業は、我孫子市と市民団体が協働で実施している事業であり、年齢を問わず参加者の手賀沼浄化の意識を高める効果があると考えられることから、今後も引き続き継続する必要があります。毎年、状況が変化していることから、状況に応じて清掃の実施方法を検討する必要があります。				代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			消耗品（啓発用物資） 通信運搬費（テレドーム電話料）	40 15		消耗品（啓発用物資） 通信運搬費（テレドーム電話料） 3月補正予算	40 15 △15		28 0		消耗品（啓発用物資） 通信運搬費（テレドーム電話料）	40 15		消耗品（啓発用物資） 通信運搬費（テレドーム電話料）	40 15
		予算（決算）額	合計		55	合計	40	28	合計	55	合計	55			
		(9) 財源内訳	国庫支出金 補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	0
(10) 人件費等	国庫支出金 補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	0		
事業費（予算（決算）額+正職員人件費）	1,969		1,998		1,986		2,013		2,013						
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）	4.38千円/人		4.44千円/人		21.13										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
必要性	評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
	(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	手賀沼の自然環境再生に取り組むためには、水質浄化に加え、その周辺の環境美化を進めることで、市民が誇れる沼として意識向上を図ることが必要となる。市民・事業者・行政が連携の輪を広げていくことで、手賀沼浄化啓発を推進する。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 多くの市民が手賀沼への認識をもち、直接浄化、環境美化活動を実施することができる。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである（理由） ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった ■③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要
	参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>				実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容） 市民団体が実行委員会形式で運営している。 参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>				取組む内容 手賀沼の浄化啓発を目的に、市民が参加できる水辺清掃を実施している。 実施した具体的な内容 手賀沼周辺の清掃活動を通して、手賀沼の自然環境再生を認識する事業である。 環境への配慮 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				○要 ●不要	
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (団体)	目標値(b) (団体)	目標値の妥当性のチェック □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		達成状況	実績値(f) (団体)	達成率(%) (f/b×100)	○①目標値達成 ●②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルス感染症対策として、実行委員会に関連する団体に限って実施し、一般参加募集を行わなかったため。	○要 ●不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他		実施状況	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	○要 ●不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症対策として、実行委員会に関連する団体に限って実施し、一般参加募集を行わなかったため。	○要 ●不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				
	評価コメント									

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (247), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (248), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main project summary table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)), and 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由・背景, (2) 市が実施する必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定, (6) 効率性, and (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (253), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 (基本事業: 古利根沼浄化の推進, 個別事業: 古利根沼水質汚濁防止), ③事業主体 (市), ⑤事業期間 (昭和63年度 ~), ⑦事業費 (総事業費: 13,448千円), ⑧施策の位置づけ (重点プロジェクト: 重点1)
(2) 目的: 多くの市民が自然にふれあい、憩うことができるよう、市民との連携により谷津ミュージアムや古利根沼周辺の保全などの核となる事業を推進します。
(3) 事業内容: 古利根沼に流入している我湖排水路に設置した礫間浄化施設による水質浄化並びに施設の維持管理を実施する。また、下水道未整備地域からの生活排水について、中峠排水路浄化施設による水質浄化及び施設の維持管理を実施する。
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応: 取手市と協力して水質浄化の推進を図る必要があります。中峠排水路浄化施設 (四万十川方式) の維持管理に経費を要しますが、下水道が敷設されていない地域も多いため、浄化効果のある当該施設を当面運用する必要があります。

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)), 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性): 古利根沼とその周辺には水辺・農地・斜面など豊かな自然が残されている。その中心である古利根沼は、市民の憩いの場になっているだけでなく、多様な生物の生息空間となっている。
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性): ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり): ①事業計画時に市民の参画有り ②事業実施時に市民の参画有り ③管理・運営に市民の参画有り ④市民の自主的な活動と連携している ⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?: ①自然環境を生かしている ②生き物と共存している ③手賀沼を意識している ④環境負荷低減に貢献している ⑤その他
(5) 目標設定は適切か?: 現況値 (a) (mg/l) 8.8, 目標値 (b) (mg/l) 9, 達成率 (%) 102.27
(6) 事業費削減の工夫をしているか?: 事業費 (c) (千円) 15,223, 削減額 (d) (千円) △409, 削減率 (%) △2.76
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用): 0.06

3. 事後評価

事後評価: ●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他 (事業完了など)
評価コメント: 本事業は、古利根沼の汚濁防止を目的とした浄化施設の維持管理を行っている事業であるため、今後も継続すべき事業である。
改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	255	課コード	0401	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	鳥獣保護事務（飼養許可及び傷病鳥獣等の保護）		実施計画への位置づけ	○有 ●無	②部課名	環境経済部・手賀沼課			
	③事業主体	●市 ○その他（ ）		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	3人（換算人数）	0.13人					
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	2,164千円（うち人件費 1,157千円）				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	00000	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無	部門別計画への位置づけ	（計画名）	環境基本計画	
(2) 目的	施策目的・展開方向				事業目的	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化を図り、もって良好な自然環境と多様な生態系を保全・創造する。					
(3) 事業内容	内容	①鳥獣保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第9条・第19条の規定による「有害鳥獣の駆除申請（駆除地域周辺の住民に知らせる必要がある場合）」・「飼養の登録申請」を手賀沼課において受付し、「有害鳥獣の駆除申請」の進達、「飼養の登録」の報告を千葉県に行なう。 ②傷病鳥獣が持ち込まれ、若しくは、保護者から連絡があった場合に、適切に対応する。 ③地域猫（特定の飼い主がなく、地域に生息し、その地域の住民の同意のもと適切に管理されている猫）の不妊去勢手術を実施する団体に、手術費用の一部を助成し、良好な生活環境の保全と動物愛護思想の普及を図る。			当該年度執行計画	①飼養登録申請があった場合には、速やかに千葉県に進達及び報告する。 ②傷病鳥獣の相談に適切に対応する。 ③天王台・我孫子駅周辺のムクドリについて道路課、鳥の博物館、手賀沼課で対応策を検討し、専門家を入れた調査を行いながら、実態について把握する。 ④飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助金の申請について適正に審査し、速やかに支払をする。					
		当該年度活動結果指標	ムクドリの追払い実施回数	単位	回	想定値	15	実績値	8		
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	ムクドリの飛来状況を、鳥との共存を図る対策を行う。			直接	ムクドリの追払い実施回数		回	8	15		
令和4年度	ムクドリの飛来状況により追払いを実施し、鳥との共存を図る対策を行う。			直接	ムクドリの追払い実施回数		回		14		
令和5年度	道路課、鳥の博物館、手賀沼課、専門家を検討した対応策が生かされ、鳥との共存が図られている。			直接	ムクドリの追払い実施回数		回		13		
(7) 事業実施上の課題と対応	ムクドリなどの都市鳥対策については、根本的な解決策がないことから、専門家の助言を生かし鳥との共存を図る新たな対策を検討するとともに、市民に対しても様々な情報を提供し理解を求め、飼い主のいない猫の不妊去勢手術を実施することで、一代限りの生を全うするため適正な管理を行う。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		傷病鳥獣飼代	1	傷病鳥獣飼代	1	0	傷病鳥獣飼代	1	傷病鳥獣飼代	1	1
		鳥獣保護消耗品	40	鳥獣保護消耗品	30	0	鳥獣保護消耗品	30	鳥獣保護消耗品	30	30
		鳥獣対策委託(鷹匠)	580	鳥獣対策委託(鷹匠)	400	400	鳥獣対策委託(鷹匠)	520	鳥獣対策委託(鷹匠)	520	520
飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助金	450	飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助金	450	155	飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助金	450	飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助金	450	450		
駐車場料金(ムクドリ追払い等)	6	駐車場料金(ムクドリ追払い等)	6	6	駐車場料金(ムクドリ追払い等)	6	駐車場料金(ムクドリ追払い等)	6	6		
合計	1,077	合計	887	561	合計	4,736	合計	4,736			
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
県支出金	補助率 50%	70	補助率 50%	70	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
起債	充当率 3%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
一般財源		1,007		817		1,046		1,046			
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 ■受益 □基金 □その他	3,690	□特会 ■受益 □基金 □その他	3,690			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.2		0.13		0.39		0.39			
正職員人件費	1,740		1,157	1,157		3,471		3,471			
嘱託職員報酬額	0		0	0		0		0			
臨時職員賃金額	0		0	0		2,405		2,405			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,817		2,044	1,718		8,207		8,207			
(11) 単位費用(事業費/活動結果指標)	187.8千円/回		136.27千円/回	214.75							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討
	鳥獣保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律並びに法律施行細則による義務的な事業である。都市鳥(ムクドリ等)に関しては、都市化の影響を受け、本来のねぐらがなくなってきているため、人間と生物の棲み分けをし、どのように共存していくか重要な問題となっている。また、飼い主のいない猫の不妊去勢手術の補助をすることで、適正な管理を促すことができるため、市が率先して取り組む必要がある。			●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 猛禽類によるムクドリの追い払いを実施し、効果があった。また、飼い主のいない猫に対して、不妊去勢手術を実施するための補助を行ったことで適正な管理を促すことができた。					○要 ●不要
	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他			■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった ■③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ●③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>			ボランティアと意見交換や連携を図る。		飼い主のいない猫を適正に管理するため、登録団体と連携し、不妊去勢手術を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により対面での意見交換会は実施できなかったが、現状や問題点等についてアンケート調査を行い、登録団体にフィードバックを行うなど、情報の共有を行った。			○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
(3) 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容		実施した具体的な内容			環境への配慮
	■①自然環境を生かしている ■②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>			市内全域における傷病鳥獣の対応や、飼養許可申請事務を行う。飼い主のいない猫の不妊去勢手術をすることで、一代限りの生を全うできるようにする。		市内全域における傷病鳥獣保護を適切に行うことができた。また、生き物との共存を図るため、飼い主のいない猫に対して不妊去勢手術を実施、不幸な猫を減らすことができた。			●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(回)	目標値(b)(回)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		
	8	15	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(回)	達成率(%) (b/f×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> ムクドリの飛来状況に応じて、適切に追い払いを実施したことで目標達成となった。		
					8	187.5			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	2,044	773	<削減の内容>		1,718	84.05			
事業費削減率(%)		27.44		<超過理由等> 平成29年度から開始した飼い主のいない猫に対する不妊去勢手術の効果徐々に出てきたことで、対象の猫が減り、予想を下回る申請となったため。					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.73		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (e/h)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 追い払いによる効果が出てきたことで、追い払いの回数が減少したことに加え、飼い主のいない猫の補助件数が少なかったため。		
					0.47	155.32			

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向				
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (258), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, citizen participation, and environmental impact.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for the project's progress and future directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (259), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and evaluation comments.

事務事業評価表(令和3年度)

Header table with columns: 事業コード (262), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	264	課コード	0401	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 谷津ミュージアムの推進 個別事業 谷津田の保全・再生事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・手賀沼課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 ■天王台 ■湖北 □新木 □布佐 □全市							
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	3人 (換算人数) 0.25人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	5,165千円 (うち人件費 3,115千円)		(変更後)	4,275千円 (うち人件費 2,225千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	11301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点1		基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無		部門別計画への位置づけ (計画名)	環境基本計画	
(2) 目的	施策目的・展開方向	多くの市民が自然にふれあい、憩うことができるよう、市民との連携により谷津ミュージアムや古利根沼周辺の保全などの核となる事業を推進します。また、くらしの中で自然が感じられるよう、「手賀沼沿い斜面林保全条例」と「緑地等保全及び緑地の推進に関する条例」に基づく指定やその維持管理に対する助成など・谷津ミュージアムの維持管理手法や整備手法などについて、助言をもらうために各分野の専門家と連携して「谷津ミュージアム事業推進専門家会議」を開催する。 ・谷津ミュージアム区域内で耕作または適正な水田管理をしている地権者からの申請により、「谷津ミュージアム区域内谷津田保全支援補助金交付要綱」に基づき、補助金を交付する。(ちばエコ準拠の耕作をしている水田にあっては1㎡につき年額30円、それ以外の耕作をしている水田にあっては1㎡につき年額20円、耕作はしないが草刈等の適正な管理が行なわれている水田にあっては、1㎡につき年額10円) ・自然観察指導員、谷津ミュージアムの会の会員や谷津学校生を中心に、ホタル・アカガエルの里や多自然型護岸整備モデル地区等で、雑木林・湿地・水辺づくりや草刈りなどの維持管理作業を進め、生物の生息環境の保全回復を図る。					事業目的	昔ながらの農村環境の復元に向けて、専門家会議を開催し、谷津に適した維持管理手法を学ぶ。また、谷津田での水田づくり支援により、耕作放棄地の発生を予防し、谷津の重要な要素である水田環境を維持・保全する。				
(3) 事業内容	内容	○1月～3月：農家への戸別訪問 (制度説明・新規開拓) ○4月：申請手続・決定通知書の発行及び農家への戸別訪問 (制度説明・新規開拓) ○7月：専門家会議の開催 ○9月～10月：申請地の現地確認 ○11月：実績報告書の提出及び確定通知書の発行 ○12月：補助金交付					当該年度執行計画					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)					指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	申請面積を維持拡大する。						直接	補助金交付水田面積		㎡	82,507	85,000
令和4年度	申請面積が拡大されている。						直接	補助金交付水田面積		㎡		85,100
令和5年度	農業者との連携により、谷津の重要な構成要素である水田が維持・保全されている。						直接	補助金交付水田面積		㎡		85,200
(7) 事業実施上の課題と対応	・農業者の後継者が不足する中で、放棄水田を増やすのではなく、水田環境の維持・保全をしていかなければならない。そのため、多様な担い手づくりとともに、農業者への戸別訪問により、谷津の自然環境における水田の重要性を認識していただく。					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容
(9) 財源内訳	予算(決算)額	合計		合計		合計		合計		合計		
国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	
一般財源		2,050	2,050		2,050	2,050		2,050	2,050		2,050	
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.68		0.25		0.25		0.76		0.76		
正職員人件費		5,916		2,225		2,225		6,764		6,764		
嘱託職員報酬額		0		0		0		0		0		
臨時職員賃金額		0		0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		7,966		4,275		4,115		8,814		8,814		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		0.09千円/㎡		0.05千円/㎡		0.05						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)															
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価					事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討				
	生物多様性を育む環境として、谷津田の維持・保全は欠かせない。適切な管理手法により谷津内における自然環境の保全・回復のための相談機関として、各分野の専門家と連携して会議の設置が必要不可欠である。また、谷津田での米づくりは作業のしづらさに加え、作付けコストが高く、また、農業後継者不足から耕作放棄する農業者の増加が懸念されているため、谷津田水田耕作支援補助制度により、耕作放棄の発生を予防する必要がある。					●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 谷津の生物多様性維持するため、耕作放棄地を増やさないことが重要。谷津田での耕作は非常に難しいとされているため、水田耕作支援をしていく必要がある。					○要 ●不要				
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>					○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ●不要				
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが確保される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 <その他の内容>														
参加・協働の工夫	参加・協働の内容					工夫の具体的な内容					参加・協働の程度・内容				
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>					市が谷津ミュージアム事業を推進する上で、市と協働で営業者やボランティアが耕作・維持管理活動を実施する。					営業者及び土地所有者に対して、事業の必要性を説明し、補助金交付を実施。 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				
環境への配慮	配慮の視点					取組む内容					実施した具体的な内容	環境への配慮			
	■①自然環境を生かしている ■②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>					生物多様性を育む環境づくりを他分野の専門家の助言を基に実施する。					耕作放棄地を増やさないため、谷津ミュージアム区域内谷津田保全支援補助金を交付している。 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (㎡)	目標値(b) (㎡)	目標値の妥当性のチェック			達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成			○要 ●不要				
	82,507	85,000	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f) (㎡)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 水田耕作支援を行ったことで耕作放棄地が増えず、目標達成となった。							
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			事業費の削減対策について					
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>			実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下			○要 ●不要				
	1,988.3	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 管理水田が増え、予算より少ない支出となったため。							

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				
	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (268), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Table for post-evaluation with columns: 現状, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (269), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and a text box for comments.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (271), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (274), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, citizen participation, and cost-effectiveness.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and conclusions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (276), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing project details, objectives, content, and financial data for the year 2021.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進), evaluation comments, and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (277), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Contains criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状, 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (281), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (284), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進) and a comment box.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (285), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (287), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including name, objectives, budget, and implementation status.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (288), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including objectives, content, budget, and implementation schedule.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	289	課コード	0401	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 騒音・振動規制対策事業	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	環境経済部・手賀沼課								
	③事業主体	個別事業 環境騒音調査	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市											
	⑤事業期間	平成17年度～		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.05人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	400千円		当該(開始)年度	(当初)	867千円 (うち人件費 445千円)		(変更後)	863千円 (うち人件費 445千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ	(計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	良好な生活環境を維持するため、定期的な環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止します。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治市内各所で1地点あたり24時間の騒音測定を実施。その結果を環境基本法で定める騒音の環境基準と照らし合わせ、現状の把握と今後の騒音対策の資料とする。 なお、19年度まで市職員が直接測定していたが、20年度より業務を委託している。理由は①データの解析等、専門性が要求される。そのため調査が進展しない。②今後予定している「道路に面した地域」は新たに機材が必要になる。 年間5地点を調査し、35地点の調査を、7年間のローリングで行なう。なお、当手法による調査は平成24年度で完了。 平成25年度からは年間5地点の調査を行い、5年間で市内5地区（我孫子、天王台、湖北、新木、布佐）を一巡する。				事業目的	市内各所で環境騒音の現状把握を行い、騒音対策の資料とする。								
(3) 事業内容	内容	当該年度執行計画		〇1月から2月に、5地点（3地点一般地域、2地点道路に面した地域）の環境騒音測定											
		当該年度活動結果指標	調査地点（年度毎に5地点での調査を実施）		単位	地点	想定値	5	実績値	5					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値						
当該年度	市内各所の環境騒音（普段の支配的音源やその音の大きさ等）の現状を調査する。			直接	調査地点数		地点/年	5	5						
令和4年度	市内各所の環境騒音（普段の支配的音源やその音の大きさ等）の現状を調査する。			直接	調査地点数		地点/年	5	5						
令和5年度	市内各所の環境騒音（普段の支配的音源やその音の大きさ等）の現状を調査する。			直接	調査地点数		地点/年	5	5						
(7) 事業実施上の課題と対応	最近の騒音問題の多くが近隣騒音によるもので、市内の環境騒音の把握はとても重要である。			代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			環境騒音調査業務委託料	434		環境騒音調査業務委託料	418	418		環境騒音調査業務委託料	422		環境騒音調査業務委託料	422	
		予算(決算)額	合計		434	合計		418	418	合計		422	合計		422
		国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
一般財源		434		418		418		422		422		422			
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		0		0		0		0		0			
換算人数(人)		0.05		0.05		0.05		0.05		0.05		0.05			
正職員人件費		435		445		445		445		445		445			
嘱託職員報酬額		0		0		0		0		0		0			
臨時職員賃金額		0		0		0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		869		863		863		867		867		867			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		173.8千円/地点		172.6千円/地点		172.6									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	毎年の公害苦情件数を種類別にみると、騒音に関する苦情が最も多い。その原因は建設作業音のような一時的なものに限らず、市民の日常生活の中から発生する音や自動車交通騒音など様々であり、地域によって状況は異なる。地域の特性に即した適切な騒音対策を実施するためには、市内各所で普段の支配的音源やその大きさを調査し、実態を把握する必要がある。				<input checked="" type="radio"/> 事前確認での想定どおり <input type="radio"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 市内各所で普段の支配的音源やその大きさを調査し実態を把握できた。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input checked="" type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input checked="" type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービスの水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 騒音事務は市に事務事業が全面移譲されており、市が主導で進めなければ実効性がなかった。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他		<その他の内容> 技術的に市民の参加は困難である。				<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他		<その他の内容> この事業自体が環境保全事業(騒音の防止)である。				<input checked="" type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (地点/年) 目標値(b) (地点/年)		目標値の妥当性のチェック		達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成		○要 ●不要
	5	5	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (地点/年)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 市内各所で普段の支配的音源やその大きさを調査し実態を把握できた。		
			<input checked="" type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input checked="" type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ●不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	<削減の内容>		863	6	863	100	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下		○要 ●不要
	0.58	0.58	①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)									
評価コメント 事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。 市内各所で普段の支配的音源やその大きさを調査し実態を把握できた。					改善案及び展開方向 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (290), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状, 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (291), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes comments on implementation and future improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (292), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応, ⑧施行事項, ⑨財源内訳, ⑩人件費等.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進) and a summary of findings and future directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	293	課コード	0401	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公害苦情相談 個別事業 公害苦情相談	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	環境経済部・手賀沼課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市						
	⑤事業期間	~	⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.23人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	当(初)	2,503千円 (うち人件費 2,047千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 12201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	我孫子市環境基本計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	良好な生活環境を維持するため、定期的な環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止します。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治体から公害苦情相談時には以下の対応を行う。 ①公害苦情相談に応じること②公害苦情の原因・発生源の調査③公害発生源者の講じるべき防止措置への指導・助言④規制に違反している場合は公害発生源者への規制措置⑤当事者間の話し合い、調停⑥関係行政機関との連携、協力の要請⑦申立人への経過の説明である。 未然防止のためのパトロールの実施、苦情件数の県への報告を実施している。			事業目的	公害、環境汚染全般に対する苦情発生源等の調査を行い、指導・規制や相談を行うことにより生活環境の保全をはかる。				
(3) 事業内容	内容	市民から公害苦情相談時には以下の対応を行う。 ①公害苦情相談に応じること②公害苦情の原因・発生源の調査③公害発生源者の講じるべき防止措置への指導・助言④規制に違反している場合は公害発生源者への規制措置⑤当事者間の話し合い、調停⑥関係行政機関との連携、協力の要請⑦申立人への経過の説明である。 未然防止のためのパトロールの実施、苦情件数の県への報告を実施している。			当該年度執行計画	電話や来庁者からの苦情を、随時受付、左記、事業内容に沿って対応している。現地確認・調査を、迅速に行い、円滑な処理に努めている。				
		当該年度活動結果指標	公害苦情処理件数 (令和2年度30件)		単位	件	想定値	30		
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	公害苦情の原因・発生源等の調査をおこない、必要な規制・指導により生活環境を保全する。			直接	解決 (申立て人の納得または原因者の対策の実施) 件数/公害苦情処理件数		%	95	95	
令和4年度	同上			直接	同上		%		95	
令和5年度	同上			直接	同上		%		95	
(7) 事業実施上の課題と対応	苦情内容が多様化し、また解決までに長期間を要する傾向にある。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		一般事務費 (通信運搬費除く)	工場・事業場排水等調査業務委託	245 101	一般事務費 (通信運搬費除く)	工場・事業場排水等調査業務委託	355 101	一般事務費 (通信運搬費除く)	工場・事業場排水等調査業務委託	245 101
		予算(決算)額	合計	346	予算(決算)額	合計	456	予算(決算)額	合計	346
		国庫支出金	補助率 0%	0	国庫支出金	補助率 0%	0	国庫支出金	補助率 0%	0
県支出金	補助率 0%	0	県支出金	補助率 0%	0	県支出金	補助率 0%	0		
起債	充当率 0%	0	起債	充当率 0%	0	起債	充当率 0%	0		
一般財源		346	一般財源		456	一般財源		346		
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
換算人数(人)		0.23	換算人数(人)		0.23	換算人数(人)		0.23		
正職員人件費		2,001	正職員人件費		2,047	正職員人件費		2,047		
嘱託職員報酬額		0	嘱託職員報酬額		0	嘱託職員報酬額		0		
臨時職員賃金額		0	臨時職員賃金額		0	臨時職員賃金額		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,347	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,503	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,393		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		75.71千円/件	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		83.43千円/件	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		70.45		

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	公害苦情相談は市民からの対応要望が強く、迅速に、適切に対応しないと発生源周辺の生活環境を悪化する。近年では、相隣関係の騒音苦情などが多く寄せられている。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 市民からの対応要望が多く、多数の要望が寄せられているため。				<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 規制・指導に係る行政事務であるため市が主導で進めなければ実効性がなかった。				
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他				○要 ●不要
	○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				<その他の内容>				
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				○要 ●不要
	工夫の具体的な内容				参加・協働の程度・内容				
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				○要 ●不要
	取組む内容				環境への配慮				
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率 (%)		●①目標値達成 ○②目標値未達成	
	95	95	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	105.26		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 苦情者の話をよく聞き、解決に努めることができた。	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	事業費削減率 (%)	●①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	実績値 (g) (千円)	対事業費 (%)	●①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	3.8	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値 (h)	対目標値 (%)	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 苦情者の話をよく聞き、解決に努めることができた。		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価コメント	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。市民からの要望が多く、良好な生活環境を保全するため必要不可欠である。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (294), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, citizen participation, and environmental impact.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進) and a comment field.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (295), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (296), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応, ⑧施行事項, ⑨財源内訳, ⑩人件費等.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (297), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, and financials.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation table with sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for current status and a comment field.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (299), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status and a comment field.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1567), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation details including current status (現状) and evaluation comments (評価コメント).

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1857), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing project details, objectives, content, and a detailed budget breakdown by fiscal year (2020-2024).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for current status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2048), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (8) 施行事項 (with budget breakdown for 2022-2025), and (9) 財源内訳.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 縮小, 中止) and a final evaluation comment.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2127), 課コード (0401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (8) 施行事項 (費用), (9) 財源内訳, (10) 人件費, (11) 単位費用.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, (1) 目標設定は適切か?, (2) 事業費削減の工夫をされているか?, (3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他 (事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.